

平成 25 年 5 月 14 日

厚生労働大臣 田村憲久様

WHO 世界禁煙デー標語（の迅速かつ忠実な翻訳）の啓発・広報のお願い

日頃は、国民の命と健康を守るため、ご公務に精励いただき感謝します。
さて、今年も WHO 世界禁煙デー（5 月 31 日）が近づいて参りました。
例年、貴省の HP での紹介は、直近にならないと行われません。今年分を拝見
しますと、「たばこによる健康影響を正しく理解しよう」という標語が書かれて
おり、「Ban Tobacco Advertising, Promotion, and Sponsorship」という WHO の
標語も紹介されていますが、翻訳は全くされていません。

本会では、「タバコの広告、販売促進、スポンサー活動を『法的に禁止』しよう」
と翻訳し啓発しています。貴省が WHO の標語も翻訳されず、異なる標語で啓
発されるのは、世界禁煙デーに対する WHO の標語が正しく日本国民に伝わら
ないことを意味し、まことに遺憾です。（なお、タバコは外来語ですので、本会
では、「たばこ」ではなく、「タバコ」表記を推奨しています。）

昨年は「たばこ会社の干渉を阻止しよう」という訳は紹介されていましたが、
貴省は「命を守る政策を！」という標語で国民に啓発されていました。

今後は、WHO 世界禁煙デーの標語が決定されましたら、迅速かつ忠実な翻訳を
行い、WHO の標語での国民に対する啓発・広報を行っていただけるよう切望し、
そのお約束をいただきたいと思ひます。

この件について下記の本会事務所宛に、可及的早期、出来れば、本年 5 月 31 日
までに文書でのご回答を頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

なお、本会では、この問題を広く国民にも問題提起させていただきたいと思っ
ておりますので、ご理解を宜しくお願い申し上げます。

【差出人】

〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町 1-11-44 ビコロ曾根 3 階
特定非営利活動法人 日本タバコフリー学会 代表理事 藪 潤

<http://tobaccofree-adv.main.jp/>